

坂本 雨山（さかもと・うざん）

1、プロフィール

川柳作家。昭和 24 年川柳入門。三戸川柳社代表を二度に渡って務め、県南地域の川柳発展に貢献。

<生没>

1919(大正8)年2月11日～1997(平成9)年11月24日

<代表作>

川柳句集『雨だれ』(1979年刊)

<青森との関わり>

三戸郡三戸町に生まれる。海軍入隊後八戸で会社員として勤務。後帰郷して印刷所経営。

2、作家解説

三戸郡三戸町に誕生。本名勝哉。

昭和7年岩手県立福岡中学校中退、東京商工学校に転入、昭和9年中退。

昭和 15 年海軍航空兵として入隊。昭和 20 年終戦により除隊。その後八戸造船勤務を経て三戸町で「坂本印刷所」経営。三戸町文化協会副会長を務める。

昭和 24 年三戸川柳吟社の忘年句会に出席して川柳入門。松尾馬奮、奥昭次に師事。昭和 28 年きやり社(村田周魚主宰)社人。

三戸川柳吟社の第4代代表、第7代代表を務める。第7代代表は死去するまで務めた。地元での川柳大会の企画運営に尽力、多くの中央著名柳人と交流を持つ。また三戸川柳吟社の機関誌「銀河」を発行し、川柳教室を開くなど、県南地域の川柳発展に貢献。

平成5年三戸町文化協会文化特別功労賞受賞。平成6年同町教育委員会文化功労賞受賞。享年 79 歳。

3、資料紹介

○『雨だれ』

図書

1979(昭和 54)年5月 20 日

210 mm × 155 mm

川柳句集。著者唯一の句集で著者の還暦記念として出版された。著者の交流の広さを示す多数の柳人の文章が寄せられている。また、著者の自分史とも言える編集がなされている。編集坂本勝哉。